

平成29年度事務事業進行管理表(自治振興センター用)
(環境ISO管理)

事務事業名	一般業務(一般事務)
センター名	下久堅自治振興センター

1 環境側面及びそれに伴う環境影響

通常時	非常時	緊急事態	環境側面	影響評価						著しい環境側面
				1	2	3	4	5	6	
○			紙の消費	×	×	×	×	×		
○			廃棄物の発生	×	×	×	×		×	
○			電気の消費	×		×	×	×		
○			水の消費	×				×		
○			ガソリンの消費	×		×		×		
○			グリーン商品の購入			○		○		

【作成上の注意】

- 「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
- 「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
- 影響評価は、1：典型7公害(大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)、2：廃棄物発生/抑制、3：地球温暖化の進行/抑制、4：自然の破壊/保全(緑地、生物多様性、水辺)、5：資源の枯渇/保全、6：その他(有害物質、景観)の分類ごとに実施します。
- 評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性(最悪を想定)を考慮して判断します。
- 影響評価の結果の表示は、良い影響大：○○、良い影響小：○、影響なし：－、悪い影響小：×、悪い影響大：××と表記します。
- 影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2 環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと期待のうち順守すると決定したもの	要求事項	順守評価	
		中間	年間
廃棄物の保管	廃棄物の適正処置(保管表示、分別、飛散等防止)	○	○

- 順守評価が必要なものについて記載します。
- 組織の状況等の検討表の「2 利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
- 順守評価結果は、良：○、否：×、期間中に要求事項に該当する内容なし：－で表示します。

3 リスクと機会(上記1及び2に関係するもの)

リスク (マイナス要素)	紙、電気等の消費、廃棄物排出
機会 (プラス要素)	グリーン商品の購入

4 環境目標

番号	区分	環境目標	年間スケジュール	中間評価		年間評価	
		①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	環境目標達成のための 手段・方法・手順	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①	紙の消費を	片面利用済み紙の有効利用、両面コピー利用、コピー後のオールクリアの徹底 無駄な資料の省略	昨年9月累計との比較101%(1%増) 両面コピー利用、総会資料のA3判使用などにより紙の消費量を抑制した。	○	9月に引き続き両面コピーの利用等の啓発を呼びかけたが、隔年で行われる文化祭の開催の影響で購入量が増加した。	×
	②	年度末までに					
	③	対前年度比減					
2	①						
	②						
	③						
3	①						
	②						
	③						

平成29年度事務事業進行管理表(自治振興センター用)
(環境ISO管理)

事務事業名	一般業務(施設管理)
センター名	下久堅自治振興センター

1 環境側面及びそれに伴う環境影響

通常時	非常時	緊急事態	環境側面	影響評価						著しい環境側面
				1	2	3	4	5	6	
		○	建物火災	×	×					
		○	地震による建物倒壊		×					
		○	停電							

【作成上の注意】

- 「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
- 「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
- 影響評価は、1：典型7公害(大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)、2：廃棄物発生/抑制、3：地球温暖化の進行/抑制、4：自然の破壊/保全(緑地、生物多様性、水辺)、5：資源の枯渇/保全、6：その他(有害物質、景観)の分類ごとに実施します。
- 評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性(最悪を想定)を考慮して判断します。
- 影響評価の結果の表示は、良い影響大：○○、良い影響小：○、影響なし：－、悪い影響小：×、悪い影響大：××と表記します。
- 影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2 環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと期待のうち順守すると決定したもの	要求事項	順守評価	
		中間	年間
施設管理(火災予防)	防火管理者選任	○	○
	消防設備点検	○	○
	避難訓練の実施	○	○

- 順守評価が必要なものについて記載します。
- 組織の状況等の検討表の「2 利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
- 順守評価結果は、良：○、否：×、期間中に要求事項に該当する内容なし：－で表示します。

3 リスクと機会(上記1及び2に関係するもの)

リスク (マイナス要素)	火災発生、地震発生
機会 (プラス要素)	

4 環境目標

番号	区分	環境目標	年間スケジュール	中間評価		年間評価	
		①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	環境目標達成のための 手段・方法・手順	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①						
	②						
	③						
2	①						
	②						
	③						
3	①						
	②						
	③						

平成29年度事務事業進行管理表(自治振興センター用)
(環境ISO管理)

事務事業名	施設管理業務(1/3)
センター名	下久堅自治振興センター

1 環境側面及びそれに伴う環境影響

通常時	非通常時	緊急事態	環境側面	影響評価						著しい環境側面
				1	2	3	4	5	6	
○			灯油使用	×		×		×		
○			LPガス使用	×		×		×		
○			太陽光発電	○	○	○	○	○		
○			雨水利用による節水、緑化	○	○	○	○	○		

【作成上の注意】

- 「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非通常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
- 「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
- 影響評価は、1：典型7公害(大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)、2：廃棄物発生/抑制、3：地球温暖化の進行/抑制、4：自然の破壊/保全(緑地、生物多様性、水辺)、5：資源の枯渇/保全、6：その他(有害物質、景観)の分類ごとに実施します。
- 評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性(最悪を想定)を考慮して判断します。
- 影響評価の結果の表示は、良い影響大：○○、良い影響小：○、影響なし：－、悪い影響小：×、悪い影響大：××と表記します。
- 影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2 環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと期待のうち順守すると決定したもの	要求事項	順守評価	
		中間	年間

- 順守評価が必要なものについて記載します。
- 組織の状況等の検討表の「2 利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
- 順守評価結果は、良：○、否：×、期間中に要求事項に該当する内容なし：－で表示します。

3 リスクと機会(上記1及び2に関係するもの)

リスク (マイナス要素)	灯油、LPガスの消費
機会 (プラス要素)	自然エネルギー活用、施設の緑化

4 環境目標

番号	区分	環境目標	年間スケジュール	中間評価		年間評価	
		①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	環境目標達成のための 手段・方法・手順	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①	施設植栽を	施設の緑化として雨水を利用して下久堅公民館の植栽管理を行う	雨水を利用して下久堅公民館玄関前の植栽管理を行った。	○	夏場を中心に雨水を利用した植栽管理ができた。」	○
	②	年度末まで					
	③	管理する					
2	①						
	②						
	③						
3	①						
	②						
	③						

平成29年度事務事業進行管理表(自治振興センター用)
(環境ISO管理)

事務事業名	施設管理業務(2/3)
センター名	下久堅自治振興センター

1 環境側面及びそれに伴う環境影響

通常時	非通常時	緊急事態	環境側面	影響評価						著しい環境側面
				1	2	3	4	5	6	
	○		フロン漏れ	×		×	×			
	○		家電の廃棄		×			×		
	○		公用車の廃棄		×			×	×	

【作成上の注意】

- 「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非通常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
- 「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
- 影響評価は、1：典型7公害(大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)、2：廃棄物発生/抑制、3：地球温暖化の進行/抑制、4：自然の破壊/保全(緑地、生物多様性、水辺)、5：資源の枯渇/保全、6：その他(有害物質、景観)の分類ごとに実施します。
- 評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性(最悪を想定)を考慮して判断します。
- 影響評価の結果の表示は、良い影響大：○○、良い影響小：○、影響なし：－、悪い影響小：×、悪い影響大：××と表記します。
- 影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2 環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと期待のうち順守すると決定したもの	要求事項	順守評価	
		中間	年間
フロン類の漏出防止	第1種特定製品からのフロン漏出防止のための適正な管理・廃棄	－	－
家電の廃棄	特定家電製品の長期使用による排出抑制と適切な廃棄	－	－
公用自動車の廃棄	自動車廃棄時の適正処理	－	－

- 順守評価が必要なものについて記載します。
- 組織の状況等の検討表の「2 利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
- 順守評価結果は、良：○、否：×、期間中に要求事項に該当する内容なし：－で表示します。

3 リスクと機会(上記1及び2に関係するもの)

リスク (マイナス要素)	フロン漏れ、廃棄物排出
機会 (プラス要素)	

4 環境目標

番号	区分	環境目標	年間スケジュール	中間評価		年間評価	
		①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	環境目標達成のための 手段・方法・手順	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①						
	②						
	③						
2	①						
	②						
	③						
3	①						
	②						
	③						

平成29年度事務事業進行管理表(自治振興センター用)
(環境ISO管理)

事務事業名	施設管理業務(3/3)
センター名	下久堅自治振興センター

1 環境側面及びそれに伴う環境影響

通常時	非常時	緊急事態	環境側面	影響評価						著しい環境側面
				1	2	3	4	5	6	
		○	灯油タンクの管理(灯油流出)	×			×			
		○	LPガスの管理(ガス漏出)	×			×			

【作成上の注意】

- 1 「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
- 2 「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
- 3 影響評価は、1：典型7公害(大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)、2：廃棄物発生/抑制、3：地球温暖化の進行/抑制、4：自然の破壊/保全(緑地、生物多様性、水辺)、5：資源の枯渇/保全、6：その他(有害物質、景観)の分類ごとに実施します。
- 4 評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性(最悪を想定)を考慮して判断します。
- 5 影響評価の結果の表示は、良い影響大：○○、良い影響小：○、影響なし：－、悪い影響小：×、悪い影響大：××と表記します。
- 6 影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2 環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと期待のうち順守すると決定したもの	要求事項	順守評価	
		中間	年間
灯油貯蔵タンクの管理	危険物の基準に従った貯蔵及び取り扱い	－	－
LPガスボンベの管理	危険物の基準に従った貯蔵及び取り扱い	－	－

- 1 順守評価が必要なものについて記載します。
- 2 組織の状況等の検討表の「2 利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
- 3 順守評価結果は、良：○、否：×、期間中に要求事項に該当する内容なし：－で表示します。

3 リスクと機会(上記1及び2に関係するもの)

リスク (マイナス要素)	灯油の流出、ガスの漏出
機会 (プラス要素)	

4 環境目標

番号	区分	環境目標	年間スケジュール	中間評価		年間評価	
		①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	環境目標達成のための 手段・方法・手順	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①						
	②						
	③						
2	①						
	②						
	③						
3	①						
	②						
	③						

平成29年度事務事業進行管理表(自治振興センター用)
(環境ISO管理)

事務事業名	団体業務支援及び地域団体等が行う活動支援
センター名	下久堅自治振興センター

1 環境側面及びそれに伴う環境影響

通常時	非通常時	緊急事態	環境側面	影響評価						著しい環境側面
				1	2	3	4	5	6	
○			ひさかた和紙の保存活動(紙すき)	○	○	○	○	○	○	○
○			桜の里づくり(桜の保存活動)	○		○	○	○	○	○
○			通知等による環境啓発	○	○	○	○	○	○	
○			ごみ拾い・河川清掃	○	○		○	○	○	○
○			意識啓発(公民館活動)	○	○	○	○	○	○	
○			ごみ集積所の管理(廃棄物適正処)	○	○		○		○	
○			財産区林の管理(森林整備)	○		○	○	○	○	

【作成上の注意】

- 「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非通常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
- 「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
- 影響評価は、1：典型7公害(大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)、2：廃棄物発生/抑制、3：地球温暖化の進行/抑制、4：自然の破壊/保全(緑地、生物多様性、水辺)、5：資源の枯渇/保全、6：その他(有害物質、景観)の分類ごとに実施します。
- 評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性(最悪を想定)を考慮して判断します。
- 影響評価の結果の表示は、良い影響大：○○、良い影響小：○、影響なし：－、悪い影響小：×、悪い影響大：××と表記します。
- 影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2 環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと期待のうち順守すると決定したもの	要求事項	順守評価	
		中間	年間

- 順守評価が必要なものについて記載します。
- 組織の状況等の検討表の「2 利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
- 順守評価結果は、良：○、否：×、期間中に要求事項に該当する内容なし：－で表示します。

3 リスクと機会(上記1及び2に関係するもの)

リスク (マイナス要素)	
機 会 (プラス要素)	農地・森林保全、河川環境保全、自然素材による和紙づくりでの循環型社会構築など

4 環境目標

番号	区分	環境目標	年間スケジュール	中間評価		年間評価	
		①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	環境目標達成のための 手段・方法・手順	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①	和紙講座を	和紙講座開催、楮畑の整備、収穫、和紙卒業証書の授与	5月、6月、8月に楮畑の整備を行った。9月には「ひさかた和紙」を題材に歴史の紹介やひさかた和紙保存会の取り組み等、講演会を開催した。	○	楮畑の整備や講演会、ワークショップを行い、地域の伝統文化の継承活動を行った。	○
	②	年度内に					
	③	3回以上実施する					
2	①	桜の植樹を	さくら祭りの開催、小学生による桜の播種、苗木の植樹	4月にさくら祭りを開催、9月に小学生による桜の種まきを行った。	○	3月に下久堅小学校の卒業生に桜の苗木を贈呈した。	○
	②	年度内に					
	③	20本程度行う					
3	①	環境美化活動を	地区住民によるごみ拾い、河川清掃、親水公園、虎岩グラウンドの下草刈り	5月に春のごみゼロ運動、6・7月に環境課職員を講師とした講習、7月に河川清掃、親水公園、虎岩グラウンドの下草刈りを	○	11月19日に秋のごみゼロ運動を実施	○
	②	年度内に					
	③	4回以上実施する					